

## 令和3年京都市はたちを祝う記念式典の開催結果について

### 1 実施した対策

#### (1) 式典手法の見直し

ア 会場の分散化と開催回数が増（令和2年：2会場→令和3年：10会場）

- ・ 従来のみやこめっせにロームシアターを加え、さらにメイン会場と中継をつなぐリモート会場も設置し、会場の分散化及び開催回数を増

イ 式典の短縮等

- ・ 式辞及び祝辞時間の見直し等により、式典時間を短縮
- ・ 懐かしの給食コーナー等の各種コーナー、ブースを中止

ウ 参加者情報の把握

入場の際にLINEからQRコードを読み取っていただき、当日の参加者情報を把握

#### (2) 会場内での感染予防対策

- ・ サーモグラフィーを設置し、検温を実施
- ・ 座席間隔の確保
- ・ 消毒液の設置、マスクの着用徹底、手洗いや手指の消毒
- ・ 演台にアクリル板を設置

#### (3) 会場周辺での感染予防対策

- ・ マスクの着用、式典前後の飲食禁止等の呼び掛けの徹底
- ・ 会場前となる二条通の通行規制
- ・ 入退場の動線を明確にし、密集しないような動線の確保

#### (4) 参加者への呼びかけ

マスクの着用や体温チェック、式典前後の飲食の自粛等、「感染防止の徹底」を働きかけたほか、緊急事態宣言が発令された7日には、「該当地域からの参加自粛」を呼び掛けを行うなど公式LINEアカウントから参加者に計13回メッセージを配信

### 2 実施結果

国の非常事態宣言のイベント開催基準である「収容人数5,000人以下」かつ「収容定員の50%以下」で、大きな混乱なく開催

式典	会場	収容定員	参加者数	割合
第1回	ロームシアター	※ 2,700人	1,152人	42.7%
第2回	みやこめっせ	5,000人	1,832人	36.6%
第3回	ロームシアター	2,000人	851人	42.6%
第4回	みやこめっせ	5,000人	675人	13.5%

※ 第1回のみリモート会場を使用